

# 地質ニュース

昭和44年12月

第184号

1969

解説	沖縄の水資源② 沖縄本島南部の水理地質……………	小西泰次郎 木野間義人 井上泰正 上正文	1
トピックス	昭和44年の海外関係業務をふりかえって…海外地質調査協力室…10		
	顕微鏡下の岩石2 古生層の泥質岩(その2)……………	片田正人 正井義郎	13
	水銀の話⑧……………	岸本文男	16
	地球化学の話⑩……………	倉沢一	24
	月の地質学⑤……………	小森長生	32
海外事情	ECAFEの第6回CCOP会議に出席して……………	早川正巳 星野一男	41
	白鳳丸航海記 ~日本海・ナホトカの旅~……………	中尾征三 水野篤 望月常一	56
	地質ニュース総目次(No. 173~No. 184)……………		65

## 編集 地質調査所

表紙の写真

泥火山——<sup>ごしよがけ</sup>後生掛温泉—— (西津軽・北秋田路 7)

頂部に火口をもつ火山のような形で やわらかい泥土からなる小丘を泥火山と呼んでいる。これは泥土質の地中からガスが継続的に噴出する場合 泥土を噴きとばしたり 押し出したりしてつくるもので 油田地方に多いといわれる。日本ではこれが火山噴気に関連して温泉地帯に生じる例があり ここにあげた後生掛温泉の泥火山は著名である。この場合は湯沼の底にたまったり あるいは地中にあった泥土が火山ガスで噴き上げられてできたものである。撮影時には小丘がまるで火山列のように並び壮観であった。後生掛温泉は前回の玉川温泉と同様 八幡平の温泉群の1つで 噴気孔・熱湯沼・泥火山など 温泉景観のスケールの大きさでは最たるものである。(盛谷智之)

発行 株式会社 実業公報社